

はばたき

大分大学教育福祉科学部
附属小学校便り No. 7
平成28年1月8日

2学期の振り返りと3学期の決意

指導教諭 山田眞由美

新年あけましておめでとうございます。旧年中は多大なるご支援とご協力を頂き本当にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、附属小学校では学期の始めと終わりに学年の代表の児童がその学期をふり返っての感想や今後の決意を述べてもらいます。本年度附属小学校では日々の生活「無言掃除」「挨拶」「トイレのスリッパ」に力を入れて取り組んでいることは、保護者の皆様にもお伝えしてきました。みんなで決めたことや当たり前のことを守らないこと、守らないことを見逃すということは一生懸命しなくても許されるということの日々子どもたちの間に浸透させていることとなります。「しなくても許される集団」「悪いことが許される集団」では安心して学ぶことはできません。終業式では、今まで取り組んできた生活に関わることや決まりを守るといこと、互いに注意し合って安心できる集団を作るという視点で2学期をふり返ってもらいました。

2学期末の代表は1年生、3年生、5年生でしたが、どの学年の発表も本当にすばらしく、全校児童が水を打ったようにシーンと静まって聞き入っていました。3人の語る風景が目には浮かび、自分の体験と比べて聞いているようでした。あまりにすばらしい内容でしたので、これを保護者の皆さんにお知らせしないのはもったいないと考え、学校便りで紹介することにしました。この文章を書いた3人はもちろん凄いのですが、この3人がこんな風に考えることができるようになったのは、周りの友だちとの良い関わり（ケンカ等も含めて）が

あったからだと思います。我が附属の児童のすばらしさを感じずにはおれませんが。

<1年1組 椎原蓮央さん>

ぼくは、学校の休み時間に友だちとサッカーをして遊んでいます。友だちとサッカーをするとシュートを決めたり、ドリブルをしたりするのが楽しいです。

水曜日の中休み、1年生は運動場でサッカーができません。でも、運動場で1年生の友だちがサッカーをしていました。ぼくは、一緒にサッカーをしたいなあという気持ちになりました。でも、学校の決まりを守らなければいけないなとも思いました。ぼくはサッカーをしたいという気持ちを我慢して、どきどきしながら友だちに

「サッカーしちゃいけないよ。」

と言いました。なぜ、どきどきしたかということ、友だちから文句を言われるかもしれないと心配だったからです。でも、友だちは

「いいよ。わかった。」

と言って、サッカーをやめてくれました。そして、一緒に鬼ごっこをして遊びました。

ぼくは、勇気を出して言って良かったなと思いました。サッカーはできなかったけど、決まりを守ることができて気持ちはすっきりしました。3学期も決まりを守ってクラスみんなと楽しく過ごしていきたいです。

<3年2組 坂本我夢さん>

ぼくが2学期頑張ったことは3つあります。それは「無言掃除」と「ワンストップ挨拶」と「トイレのスリッパ（そろえ）」です。

ぼくは無言掃除があまり得意ではありませんでした。時々放課後やり直しをしました。その時は「何でやり直しをしないといけないのかな。」と

思いました。無言掃除がとてもしやでした。それでも諦めずに頑張りました。なぜなら「しらしんけん」という言葉があったし、みんなで決めたこと「ぞうきんは10秒で絞る」「600回拭く」「話しかけられても話さない」という言葉もあったからです。だから、ぼくは毎日一生懸命頑張りました。

一生懸命頑張っていると無言掃除をやり直している友だちがいました。ぼくは一生懸命しているのに、していない人がいていやな気持ちになりました。でも、前は僕も手を抜いてしたことを思い出しました。今はあのときどうしてあんな事をしたのかすごく反省しています。みんなで頑張っていることなので僕がしないと迷惑をかけるからです。できないと仲間じゃない気がするからです。だから、一生懸命頑張りました。

あいさつは時々忘れることがありました。先生の話聞いて地域の方にも挨拶ができないといけないんだと気づきました。それから毎日ワンストップ挨拶を頑張っています。学校では友だちにもたくさんできるようになりました。トイレのスリッパもいつもそろえています。みんなが頑張っていることは絶対に頑張ります。僕は無言掃除や挨拶、トイレのスリッパを頑張ることで自分のことが前より好きになりました。そして、無言掃除を頑張っている友だちが大好きになりました。もっともっと仲良くなりたいと思いました。だからこれからはしらしんけん一生懸命に頑張りたいです。

<5年2組 植本陽帆さん>

私たち5年生が取り組んでいる縄。今年は更に長縄を加えるため、クラスで5つのチームに分かれました。私たちのチームには他の班に入る縄実行委員さんがおらず、明確なリーダーがいませんでした。それで、練習の時も集まってはトラブル、ケンカの繰り返しでした。私も元々自己主張が強いのですが、いつもケンカになる人たちも主張が強く、先生の手を借りないと解決できませんでした。そして、日に日に仲が悪くなっていきました。縄に引っかかって笑ったり、人が言うことを無視したり・・・。その

根本は自分を少しもゆずろうとしないことにありました。私も自分の考えを押し通そうとして、向こうを責めるばかりでした。そんな時、またいつものようにケンカしていると先生から怒られました。そして、チームのメンバーの一人が言いました。

「お互いゆずり合っていないからこうなる・・・。」

そして、先生も

「もっとほめ合わなきゃだめだ。」

と言いました。それで、わざとらしくてもとべるたびに、

「すごい!」「うまい!」

とべなくても

「おしかったね!」

と言いました。私もおかしいなと思っても強く言いすぎないように心がけました。そうして何とか練習を重ねついに大舞台がやってきました。前は「ちょっと!こっち入れんのやけん向こう行って!」

と強い口調でしたが、今は違います。「何が何でもけんかをしない。」そうだったから。こうして私はこのからまって、からまって、更にかからまった糸を何とか元に戻したのです。今、友だちとあまりうまくいっていない人はいませんか?そんな人は自分が相手に少しゆずろうという気持ちはあるのか、自分の悪かったところは何か、それをじっくり冬休みに考えてみて下さい。そして、相手の良さを見付け伝えていくことが大切だと感じます。きっと3学期には仲の良い友だちになりますよ。話してみないと伝えてみないと何も進まないと思っただけで2学期でした。

次号では、3学期の始業式で発表してくれた2年生、4年生、6年生の内容をご紹介します。